

本箱

吉田亮子(編集部)／選



実はこの3月、津軽鉄道「ストーブ列車」に乗って、冬の青森を旅したいと密かに考えていました。嗚呼、焼いたスルメで一杯やりたかった！

「旅が10倍面白くなる観光列車 SLからイベント列車まで」

野田隆＝著 平凡社新書

798円 ISBN978-4-582-85588-3



タイトルに驚きつつ、軽妙な文章に、ときにクスッとしながら悲しみとのつきあいうを知る。私も今のうちに「夫イラズくん」を買っとこ。

「ミボーゼン日記」

竹信三恵子＝著 岩波書店

1995円 ISBN978-4-00-024867-7



もう一つ、震災で実現しなかったのが初高尾山。方向音痴の私にひとりは無理だけど、コースガイドや持ち物リストなど、役に立ちそう。

「ひとり登山へ、ようこそ！ 女子のための登山入門」

鈴木みき＝著 平凡社

1260円 ISBN978-4-582-83510-6



著者は「ロボット」という言葉をつくった人だと今回知りました。こんな謎解き短編集を持って、南の島でポ〜としたい。和田誠さん装幀。

「ひとつのポケットからでた話」

カレル・チャペック＝著 栗栖茜＝訳

海山社

2310円 ISBN978-4-904153-04-8



健康な未来を子どもたちに手渡すために、日本のみならず世界中の元気なまちを歩き、秘密を探る著者。地域の食文化から“宝”を再発見。

「地域ブランドを引き出す力 トータルマネジメントが田舎を変える！」

金丸弘美＝著 合同出版

1470円 ISBN978-4-7726-0448-2



そのこは学校に行けず、朝から晩まで家族のため、チョコレートの材料・カカオの収穫を行なう。ガーナ共和国での児童労働を伝える絵本。

「そのこ」

谷川俊太郎＝著 塚本やすし＝絵

晶文社

1575円 ISBN978-4-7949-6766-4



要するに、そんな日本の食文化や食の安心・安全を壊すのがTPP。参加すると食料自給率が13%以下がり、選択の自由もなくなるとか。

「TPPが暮らしを壊す 雇用、食生活、保険・医療の危機」

森島賢、小林綾枝、山岡淳一郎＝著

家の光協会

500円 ISBN978-4-259-54736-3



著者の没後10年記念展が東京・教文館で8月18日まで開催中。会場には10メートルの絵巻原画の拡大版が登場、新しい発見があるかも。

「絵巻えほん 11びきのねこマラソン大会」

馬場のぼる＝著 こぐま社

2100円 ISBN978-4-7721-0110-3